

平成29年度

「運営に関する計画・自己評価(最終評価)」  
及び「学校関係者評価報告書」

大阪市立佃小学校  
平成30年3月

## 大阪市立佃小学校 平成29年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</b></p> <p><b>全市共通目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平成29年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。</li> <li>○ 平成29年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を93%以上にする。</li> <li>○ 平成29年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。</li> <li>○ 平成29年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。</li> </ul> <p><b>学校園の年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 今年度の校内アンケートにおける「友だちとなかよくしている」の項目について「よく思う、思う」と答える児童の割合を94%以上にする。</li> <li>② 今年度の校内アンケートにおける「自分にはよいところがある」の項目について「よく思う、思う」と答える児童の割合を60%以上にする。</li> <li>③ 今年度の保護者アンケートにおける「保護者や地域の人たちの意見を聞き、開かれた学校になるように努めている」の項目について、「当てはまる(やや当てはまる)」と答える割合を前年度(69%)より向上させる。</li> </ul>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策2 道徳教育や人権教育の推進】</p> <p>道徳の時間の指導を中心に、朝の会や終わりの会などを含めた学校生活すべての教育活動を通して、互いのよさを認め合いながら、自己肯定感を高める指導の充実を図る。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>道徳教育全体計画別業の見直しと改善を図り、道徳教育を充実させる。また、「あいさつ運動」などの強調週間を年間2回実施する。</p>	B
<p>取組内容②【施策3 地域や大阪らしさを生かした取組】</p> <p>東京佃島小学校との交歓会をはじめとし、地域との連携を図った教育活動を推進し、地域の伝統と文化を尊重する心を育む。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>全校児童が東京佃島小全児童と文通を行ったり、東京佃島小の代表を迎えて交歓会をしたりする。また、地域などのゲストティーチャーによる授業を年間3回以上実施する。</p>	A
<p>取組内容③【施策1 防災教育や安全教育の推進】</p> <p>津波を想定した避難訓練等を通して命の大切さを実感させたり、学校のきまりを守るようにさせることで規範意識をもたせたりするなど、安全に対する意識を高める。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>避難及び防災訓練等を年間3回以上、地域とも協力しながら実施したり、「ろうか・階段は右側を静かに歩こう」という月目標を年間2回設定するとともに、「右側強調週間」を設定し、規範意識を強めたりする。</p>	B

## 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

### 【年度目標】について

#### 全市共通目標

- 平成 29 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、100%解消された。
- 平成 29 年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合は 93.5%であり、目標を上回った。
- 平成 29 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数は前年度、今年度とも 0 である。
- 平成 29 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合は昨年度 2 人、今年度 0 人で、前年度より減少した。

#### 学校園の年度目標

- ① 10月の校内アンケートの結果、「友だちとなかよくしている」の項目について「よく思う、思う」と答えた児童の割合は99%、年度末の校内アンケートでも同じく99%を維持し、年度目標を上回った。
- ② 10月の校内アンケートの結果、「自分にはよいところがある」の項目について「よく思う、思う」と答えた児童の割合は90%、年度末の校内アンケートでも89%と高い割合を維持し、年度目標を上回った。
- ③ 10月の保護者アンケートの結果、「保護者や地域の人たちの意見を聞き、開かれた学校になるように努めている」の項目について「当てはまる、やや当てはまる」と答えた保護者の割合は61.6%であったが、年度末の校内アンケートでは69%と前年度と同様の割合となった。

### 【取組内容】について

- ① 道徳の授業で教材を毎回作り、クラスや学年の実態に合わせた指導をしている。道徳の時間を中心に、友情や勇気、生命尊重について考え、互いの良さを認め合うことに努めてきた。また、「あいさつ運動」などの強調週間を計画通り実施してきた結果、10月の校内アンケートの「あいさつをしっかりとっている」という項目については98%の児童が、1月の校内アンケートでも97%の児童が「よく思う、思う」と答えており、十分な成果が見られた。
- ② 佃島交歓会に向けて東京佃島小学校の児童へ手紙を書いたり、二校の校歌の練習をしたりすることで、佃小学校の一員として行事に取り組むことの楽しさを感じ取り、地域の伝統と文化を尊重する心が育まれた。また、警察署やパッカー車、昔あそびや昔のくらしなどを教えてくれる地域のゲストティーチャーを呼び、授業も行った。
- ③ 避難訓練は津波を想定した防災訓練として、地域・保護者とともに協力して行うことができ、命の大切さを実感させるよい機会となった。一方、学校生活では、廊下や階段を走る児童はまだ多く、右側歩行の定着までには至らない。そこで、「ろうか・階段は右側を静かに歩こう」という生活指導目標を設定し、「右側強調週間」を11月に実施し、児童代表委員の呼びかけ・点検を行い、全校児童の意識を高めることに努めることができた。

#### 次年度への改善点

- ① 道徳の教科化に向け、他教科との関連を年間指導計画に位置付ける。
- ② 次年度は東京佃島小学校を訪れるので、児童へ送られてくる手紙の返事の手書き方を正しく指導し、これまでの交流の歴史を踏まえ、有意義な交歓会となるように意識を高める。
- ③ 災害時における保護者引取り訓練や不審者対応訓練など、様々な状況下での訓練を引き続き実施していく。

## 大阪市立佃小学校 平成29年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</b></p> <p><b>全市共通目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平成29年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、前年度より向上させる。</li> <li>○ 平成29年度の小学校学力経年調査における正答率7割以下の児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント減少させる。</li> <li>○ 平成29年度の小学校学力経年調査における正答率7割以上の児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント増加させる。</li> <li>○ 平成29年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。</li> <li>○ 平成29年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である(反復横とび)の平均の記録を、前年度より5ポイント向上させる。</li> </ul> <p><b>学校園の年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 今年度の校内アンケートにおける「勉強がよくわかりますか」の項目について「よく思う、思う」と答える児童の割合を93%以上にする。</li> <li>② 今年度の保護者アンケートにおける「グループ活動(全学年)や習熟度別学習(3～6年)等を工夫し、個に応じた学習を行っている」の項目について、「当てはまる(やや当てはまる)」と答える割合を前年度(69%)より向上させる。</li> <li>③ 今年度の校内アンケートにおける「運動することが好き」の項目について「よく思う、思う」と答える児童の割合を91%以上にする。</li> <li>④ 今年度の手洗い・うがい週間での手洗い・うがいがんばり表における「そうじの後の手洗い・うがい」をした割合を85%以上にする。</li> <li>⑤ 今年度の校内アンケートにおける「残さず給食を食べている」の項目について「よく思う、思う」の割合を90%以上にする。</li> </ul>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策5 習熟度別少人数授業の充実】</p> <p>年間指導計画を作成し、学習形態を工夫したり、指導内容について綿密な打ち合わせを定期的に行ったりすることにより、個に応じた指導の充実を図る。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>年間指導計画を作成し、習熟度別少人数指導(T・T指導含む)による授業時数を全体の3分の2以上実施し、児童アンケートにおける「これからもコースに分かれて学習したいですか」の項目について「よく思う・思う」と答える児童の割合を72%以上にする。</p>	A
<p>取組内容②【施策5 言語力、表現力、読書力の充実】</p> <p>豊かな言語活動を行い、読書習慣を身につける。芸術に親しむ機会を意図的に計画的に設定し、学習の成果を発表することを通し、豊かな感性や能力を培っていく。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>読書タイムの設定により年間15時間以上を確保し、音楽鑑賞会や作品展、東京佃島小交歓会等の文化的行事を実施する。また、校内アンケートにおける「本を読むのが好きですか」の項目について「よく思う・思う」と答える児童の割合を75%以上にする。</p>	B

<p>取組内容③【施策 8 授業研究を伴う校内研修の充実】</p> <p>道徳科に重点を置いて研究活動を全学年で取り組んだり、若手教員を中心とした授業力向上のための授業研究会等を計画的に行ったりすることにより、全教職員の指導力向上を図る。</p>	B
<p>指標</p> <p>研究に関する授業研究会を全学年で実施したり、若手教員による授業研究会等を積極的行ったりするなど、全員授業研究を実施する。</p>	
<p>取組内容④【施策 7 体力向上への支援】</p> <p>体育科の指導や休み時間に、体を動かすことの楽しさを感じ取らせ、運動に関する「がんばりカード」等を作成することにより、運動に対する興味や関心、意欲を高める。</p>	B
<p>指標</p> <p>「なわとび」や「かけあし」等の運動強調週間の「がんばりカード」を全校児童に配付し、登校後や休憩時にも運動に意欲的に取り組めるようにする。学期に1回、運動週間の取組を実施する。</p>	
<p>取組内容⑤【施策 7 健康な生活習慣の確立】</p> <p>姿勢や手洗い・うがいなど、強調週間を設定したり、保健に関する講話を定期的実施したりすることにより、基本的な生活習慣を身につけることの大切さを理解させる。</p>	B
<p>指標</p> <p>週に1度各教室で清潔調べを行ったり、学期に1回姿勢強調週間を設定したりする。その際にはチェックシートを活用し、振り返りの機会を持つことにより、日常的に健康を意識できるよう取り組む。</p>	
<p>取組内容⑥【施策 7 食育等、健康に関する現代的課題への対応】</p> <p>給食指導の充実を図るとともに、栄養指導を行ったり、給食だよりを配付・指導したりすることにより、「食」に対する意識を高める。</p>	B
<p>指標</p> <p>食への関心を強めるため、委員会を中心に、食に関するポスターを作成したり、交流給食を実施したり、学期に1回「もぐもぐ週間」を実施し、残食数を調べたりする。</p>	
<p style="text-align: center;">年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p><b>【年度目標について】</b></p> <p><b>全市共通目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平成 29 年度の小学校学力経年調査における標準化得点は、3 年生 94.7⇒106.6、4 年生 96.1⇒98.6、5 年生 105.6⇒98.6、6 年生 98.7⇒102.6 であり、5 年生が前年度を下回った。</li> <li>○ 平成 29 年度の小学校学力経年調査における正答率 7 割以下の児童を同一の母集団で比較したところ、4 年生 38.8%⇒36.4% (△2.4%)、5 年生 29.4%⇒39.7% (+10.3%)、6 年生 30.5%⇒26.2% (△4.3%) で、6 年生のみ達成することができた。</li> <li>○ 平成 29 年度の小学校学力経年調査における正答率 7 割以上の児童を同一の母集団で比較したところ、4 年生 61.2%⇒63.6% (+2.4%)、5 年生 70.6%⇒60.3% (△10.3%)、6 年生 69.5%⇒73.8% (+4.3%) で、6 年生のみ達成することができた。</li> <li>○ 平成 29 年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は 65%で、前年度の 70%より減少した。</li> <li>○ 平成 29 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、反復横とびの記録は 34.3 回から 39.8 回へ 5.5 ポイント増加した。</li> </ul> <p><b>学校園の年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 校内アンケートの結果、95.2%と上回った。</li> <li>② 保護者アンケートの結果、73%と前年度より向上した。</li> <li>③ 今年度の校内アンケートにおける「運動することが好き」の項目について「よく思う、思う」と答える児童の割合が 90.4%と、少し下回った。</li> <li>④ 今年度の手洗い・うがい週間で手洗い・うがいがんばり表における「そうじの後の手洗い・うがい」した割合が 92%であった。</li> <li>⑤ 今年度の校内アンケートにおける「残さず給食を食べている」の項目について「よく思う、</li> </ul>	

思う」の割合が 97.5%と大きく上回った。

### 【取組内容について】

- ① 各学年、綿密な打ち合わせを行い、個に応じた指導の充実を図った。3～6年生では、算数科で計画的に習熟度別学習を行うことができた。児童アンケートでも「これからもコースに分かれて学習したいですか」の項目について「よく思う・思う」と答える児童の割合は算数科92%、国語科82%と大きく上回った。
- ② 読書タイムを年間15時間以上確保し、さらに読書月間や図書館開放を行うなど、本に親しむ機会を増やすことができた。校内アンケートにおける「本を読むのが好きですか」の項目について「よく思う・思う」と答える児童の割合も86.8%と上回った。文化的行事も計画的に実施した。
- ③ 道徳に重点をおいて全学年で研究活動に取り組んだ。学年担任と習熟度別担当、教務主任が綿密に打ち合わせを行い、計画的に取り組む体制も確立できた。各教科主任が月1回、教員研修を行うことで、教員の指導力向上につながった。
- ④ なわとびやかけあしの運動強調週間に「がんばりカード」を配布することにより、子どもたちは意欲的に取り組むことができた。ただ、クラスによって該当時間以外に取り組む姿勢には差があった。
- ⑤ 週1回の清潔調べや学期ごとの強調週間では、チェックシートを活用し、自己の健康について意識できるようになってきた。
- ⑥ 日々の給食指導やもぐもぐ週間、栄養指導などの取り組みなどにより、「食」に対する意識が高まってきている。

### 次年度への改善点

- ① 学年によっては、国語科の習熟度別学習がなかなか計画通りに進められていないので、年度当初から打ち合わせを綿密に行い、進めていく必要がある。
- ② 次年度も継続的に声掛けを続け、「本を読むのが好きですか」の児童の割合を増やしていく。
- ③ 評価の在り方を中心に引き続き研究を深めていく。
- ④ 運動強調週間に該当時間以外にも取り組むよう、指導が必要。(特に高学年)  
昨年度に比べて休み時間に運動場で遊ぶ児童が少なくなっているため、進んで外で遊ぶような手立てを考える。
- ⑤ 強調週間以外でも継続して実施できるよう、保健指導の充実を図る。また家庭への啓発を行う。
- ⑥ 給食指導の充実を図り、共通意識を持つようにする。「食」に関するポスターを作成するなど、全児童へ知らせていく。また、家庭への啓発を行う。

## 平成29年度 学校関係者評価報告書

大阪市立佃小学校協議会

## 1 総括についての評価

本年度の学校の自己評価から、年度目標に対して概ね達成していると言える。

しかし、児童や保護者アンケートや検証資料の結果から、成果と課題が明らかになり、工夫・改善の余地はある。また、数字には表れないところも見落とさず、学校が子どもたち一人ひとりにあった教育活動をさらに進めてもらいたい。

## 2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

## 年度目標：【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

## 全市共通目標

- 平成29年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。
- 平成29年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を93%以上にする。
- 平成29年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。
- 平成29年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。

## 学校園の年度目標

- ④ 今年度の校内アンケートにおける「友だちとなかよくしている」の項目について「よく思う、思う」と答える児童の割合を94%以上にする。
- ⑤ 今年度の校内アンケートにおける「自分にはよいところがある」の項目について「よく思う、思う」と答える児童の割合を60%以上にする。
- ⑥ 今年度の保護者アンケートにおける「保護者や地域の人たちの意見を聞き、開かれた学校になるように努めている」の項目について、「当てはまる（やや当てはまる）」と答える割合を前年度（69%）より向上させる。

- 達成状況の評価に関しては妥当である。全国学力・学習状況調査や小学校学力経年調査や、児童と保護者に学校アンケートなどの結果から、全市共通目標と学校園の目標ともに一定の成果が上がっていると伺える。

特に、校内アンケートの「自分にはよいところがある」の項目については、昨年度の全国学力・学習状況調査をもとに、60%以上の肯定的回答の目標設定を行ったが、比較対象の6年生でも20ポイントの増加があり、全体としても25ポイント以上になり、これまでの学校の取組の成果と考える。

しかし、「開かれた学校」についての項目は、昨年と同様の結果となり、さらなる工夫・改善や努力が必要であると考え

## 年度目標：【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

#### 全市共通目標

- 平成 29 年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、前年度より向上させる。
- 平成 29 年度の小学校学力経年調査における正答率 7 割以下の児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 3 ポイント減少させる。
- 平成 29 年度の小学校学力経年調査における正答率 7 割以上の児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 3 ポイント増加させる。
- 平成 29 年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。
- 平成 29 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である（反復横とび）の平均の記録を、前年度より 5 ポイント向上させる。

#### 学校園の年度目標

- ② 今年度の校内アンケートにおける「勉強がよくわかりますか」の項目について「よく思う、思う」と答える児童の割合を 93% 以上にする。
- ② 今年度の保護者アンケートにおける「グループ活動（全学年）や習熟度別学習（3～6 年）等を工夫し、個に応じた学習を行っている」の項目について、「当てはまる（やや当てはまる）」と答える割合を前年度（69%）より向上させる。
- ③ 今年度の校内アンケートにおける「運動することが好き」の項目について「よく思う、思う」と答える児童の割合を 91% 以上にする。
- ⑥ 今年度の手洗い・うがい週間での手洗い・うがいがんばり表における「そうじの後の手洗い・うがい」をした割合を 85% 以上にする。  
今年度の校内アンケートにおける「残さず給食を食べている」の項目について「よく思う、思う」の割合を 90% 以上にする

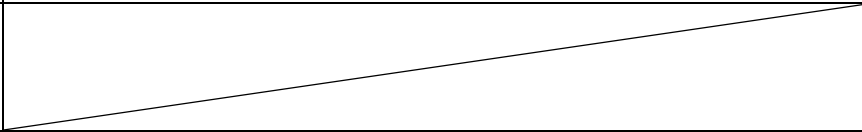
- 達成状況の評価に関しては妥当であるが、全国学力・学習状況調査や小学校学力経年調査や、児童と保護者に学校アンケートの結果から、成果と課題が明らかになっている。学校園の年度目標については、ほぼすべての項目で目標を達成した。全市共通目標では、全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である（反復横とび）の平均の記録が前年度より 5.5 ポイント向上し、目標を達成したことは、「なわとび」や「かけあし」などの運動の取組の成果と考えられる。しかし、小学校学力経年調査については、学年によって差があり、3～6 年のすべての学年で目標を達成できなかったが、項目によっては目標設定の再検討をする必要があると考える。

### 3 今後の学校園の運営についての意見

- 本校の特色ある取組である東京佃島小学校との交歓会は、半世紀以上続いているが、運営面などで改善していく時期に来ていると思われる。ICT 教育などを活用していくことも考えられる。
- 学校が地域や生涯学習ルームなどとも連携し、ゲストティーチャーによる出前授業などでさらに活性化し、子どもたちの学力や体力向上につなげてもらいたい。
- 家庭学習、読書習慣、テレビやゲームの時間の約束などを保護者に啓発し、家庭と連携して進めてもらいたい。
- 学校や P T A などの取組をホームページや学校だよりなどで、さらに情報発信し、理解の輪を広げる必要がある。



自校の取組の成果と課題

区分	成果と課題
①暴力行為の状況等	<p>日々の道徳学習、学級指導、さらにはピアサポートの取り組み等により、児童の他人を思いやる心が育ってきた。まだまだ言葉遣いは課題が多いが、暴力行為においては、見られなくなってきた。さらに取り組みを充実させ、継続していく。</p>
②いじめの状況等	<p>日々の学校生活の中で児童には繰り返し、いじめの卑劣さを指導し、何か心配なことがあれば、すぐに教師に相談できるような体制づくりに進めてきた。</p> <p>アンケート調査の結果においても、特に気になる事案はなかった。</p>
③小・中学校における不登校の状況等	<p>保護者や本人と細やかに連絡を取り合う中で、短時間であっても学校に登校できるようになり、改善している。</p> <p>家庭訪問や電話連絡など密に行ってはいるが、本人の精神面での不調がなかなか改善しないという理由で登校できないことがほとんどである。中学校には児童の状況を細かに引き継ぎ、取り組んでくれるよう連携をしている。</p>
④高等学校における長期欠席の状況等	
⑤高等学校における中途退学の状況等	